



“読書貯金”の取り組みにご協力ください

邑智小学校では、6月16日（金）～25日（日）までの10日間、読書貯金の取り組みをします。一昨年度も実施したので、3年生以上の方は、記憶に残っているでしょうか！？（1年生については、まだひらがなを学習して間もないので、今回は参加せずに、2学期から取り組みます。）



読書貯金は、家庭で本を読んだ時間を貯めて、カードに記入していくというものです。1日の読書の時間の目標を、2年生は10分、中学年は15分、高学年は20分というように設定してみました。10日間ですので、2年生は貯金を100分以上、中学年は150分以上、高学年は200分以上することができるとよいなと考えています。

お家の人に読み語りをしてもらった時間も読書の時間にカウントしてよいことにしています。本を通して親子でふれ合う時間が持てるといいですね。1年生の子どもさんにも、是非読み語りをしてあげてください。高学年については、親子で同じ本を読んで感想を交換し合うというのも楽しいかもしれませんね。

メディア接触の時間を少し減らし、読書に向かえるようにご家庭でもご協力をお願いします。この取り組みを通して、読書が生活の中に入り込み、本を読むことが“くせ”になるといいなと思っています。

めざすは、芦田愛菜ちゃんです（笑）。子役女優の芦田愛菜ちゃんは、小さいころから両親に本を与えられて育ち、本が大好きだそうです。愛菜ちゃんは、この春、有名私立中学に見事合格し入学を果たしています。このことが取り上げられていた雑誌のインタビュー記事を読んだところ、愛菜ちゃんにとって本を読むことは、歯みがきをしたりお風呂に入ったりすることと同じように、生活の中で当たり前にするものの一つになっているそうです。愛菜ちゃんが受験勉強を始めた時期は、他の子どもさんより随分遅かったようですが、読書を通して自然に身についた知識や学力が愛菜ちゃんの底力になっているのではないかな！？と私（三宅）は感じました。

取り組みについて、詳しくは、子どもさんが持ち帰ったカードをご覧ください。また、低学年の子どもさんについては、自分で時間をカウントしたり、合計を出したりすることが難しいと思います。お手数をおかけして申し訳ありませんが、記入にご協力をお願いします。

課題図書を読んでみましょう！

毎年、読書感想文の課題図書がこの時期に出されます。邑智小学校でも全部の本を購入しました。（裏面をご覧ください。）課題図書は、低・中・高学年それぞれ4冊ずつ選定されていますが、子どもの発達段階に合わせて、幅広い視点からその時期に出会わせたい本として選ばれています。低学年の本は、読むと心が温かくなっていくお話が多いです。

中学年は、国際理解的なこと（空に向かってともだち宣言）や昔からの生活の知恵（干したから）なども扱われており、子ども達の視野を広げてくれます。

高学年は、人の生き方について考えさせられたり（転んでも、大丈夫）、物語の時代背景として戦争があったりする（霧の中の白い犬）など、大人が読んでも読み応えがある内容です。

今、子ども達の間で人気の本に、「おしりたんてい」の絵本や「サバイバル」（歴史や昆虫などが扱われているコミック）のシリーズなどがありますが、お気に入りの本を読むのと同時に、課題図書などにも目を向け、読む本の幅や視野を広げてほしいなと思っています。（文責 三宅）